

第52回 佐保川清掃の重み

5月15日(日)第52回佐保川清掃(主催:佐保川清掃対策委員会)が実施されました。自治連合会を中心に様々な団体から千名を超える参加者があり、子どもからお年寄りまで「地域の誇りである佐保川をきれいに」と、清掃活動に励みました。

佐保川清掃は、地域の有志により昭和35年から始められた半世紀を超えるスゴイ取り組みです。当初は400名程度の参加だったそうです。当時の佐保川はまさにドブ川のように、冷蔵庫、洗濯機、自転車等が捨てられゴミ捨て場同然の有り様だったそうです。(当時はBOD20mg/L以上ありました。)そのような中、地域の財産であり万葉集にも詠われた歴史ある佐保川に清流を取り戻そうと活動は続けられ、今では親水施設に子ども達が集い、素晴らしい桜並木に代表される地域に愛される川となり、水質も最上ランク(BOD1mg/L以下)に改善されています。当時の人々が、京都の鴨川的美しさに歴史の重みを感じたのが、1つのキッカケとなったそうです。

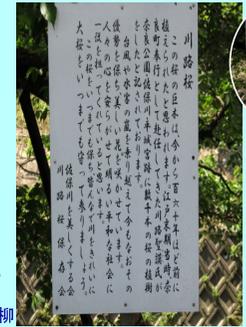
地域の誇り佐保川



万葉集を紹介したサインです。



現地にはいくつか万葉歌碑が。佐保川の柳 犬養 孝書 「うちのぼる 佐保の川原の青柳 今は春べとなりけるかも」



川路桜の紹介

開会式です ~地域の学校長や県会議員等、多くの来賓が来られています。代表して、奈良市福井副市長、川崎部長が挨拶されました~



1000名を超える参加者がありました。黄色のジャンパーはロータリークラブの皆さま



消防団も参加します。その他、地域の学校、ボランティア団体等多くの団体が参加

谷口会長の挨拶で始まりました。



谷口会長には一昨年、第50回を記念してコメントをいただきました。詳しくは、当HPのH21.8.13付け「お知らせ」をご覧ください。



多くの来賓



算事務局長から作業の説明です

清掃開始です



子どもからお年寄りまで幅広い世代が参加。地域コミュニティの形成に役立っています。



子どもたちもたくさん参加しました



親子でがんばります

さまざまな工夫がなされています



奈良土木も協力します



熱心に清掃する奈良土木職員
当日河川課12名、奈良土18名参加



万青クラブがお手伝い



テープ張り
佐保川(南都八景)を取り戻そうと配慮されています



テープ張り
ジャコウアゲハ蝶にも配慮しています

万葉集にも詠まれた佐保川は、地域の誇りとして大切にされているのではないのでしょうか。

当日参加されたご婦人が、石碑を建てた日には犬養孝御本人が来られたと誇らしげに語っておられました。



自治会手作りの美化啓発看板



佐保小学校6年生手作り(佐保川を救え)の啓発看板

自治会や小学生による手作りの看板

きれいになりました

長年の取り組みにより佐保川は、地域の川として根付いているからでしょうか? ゴミは少なく、作業は草刈り主体です。自転車などは見当たりません。



作業は草刈り主体です



刈った草でいっぱいです



きれいになりました

周辺の街並みも含めてやはり佐保川には万葉の歴史と重みを感じます。

5月16日朝刊
産経新聞



5月16日朝刊
奈良新聞

ごろうさまでした。